

「総ぐるみ」新聞

NPO総ぐるみ福祉の会 所在地：「京急ニュータウン」バス終点 徒歩2分

住所 横浜市港南区日限山4-39-19 日限山ハイツ101号室
電話 045-846-8850 FAX 045-370-7272

新型コロナウイルスの影響で介護サービス事業収益が悪化

新型コロナウイルス感染症予防のため、総ぐるみ福祉の会では、5月31日開催予定の令和2年度(第19回)通常総会を書面表決により実施することとし、すでに総会資料を会員の皆様に配布しています。

昨年度の計画として、当会では①「居宅介護」「障害者介護」などの介護サービス事業、②日曜日を除くほぼ毎日開催のたまり場「こぶし」を中心とした「総合事業」、③毎週火・金オープンの「日限山荘」などのボランティア事業を3本柱として、それぞれの事業を活発に行うことを掲げましたが、その実績はどうだったでしょうか。

悪化の原因はコロナ以外にも

①の介護サービス事業については、新型コロナウイルスの影響で2月以降の介護件数が減少したことに加えて、利用者の老人ホームなどへ入所

するケースが増えたこと、ヘルパー不足や介護車・パソコンの減価償却による経費の増大などにより収益が悪化しています。

大幅に伸びた「こぶし」利用者数

新型コロナウイルスの影響が最も大きかったのは、②の「こぶし」事業ですが、こちらは3月から一切の活動を停止したにも関わらず、年間の利用者数が述べ2880人と前期実績の2075人を大幅に上回りました。

これは各プログラムを推進するコーディネーターの皆さんが利用者の皆さんの意見を取り

地域のために役立つ介護サービスの実現を目指す

次に今年度の計画については、昨年に引き続き「地域のために役立つ介護サービスの実現」をスローガンとして掲げ、介護サービス事業を活動の中心に置き、たまり場「こぶし」とボランティア活動の3本柱をバランス良く運営していきたい、としています。

しかしながら、今年度は世界全体が新型コ

入れてプログラム内容の見直しを図るとともに、「こぶし」への参加を積極的に呼びかけたことによるものです。

「日限山荘」も好調でした

「こぶし」同様に3月から活動を停止した「日限山荘」も利用者が述べ2297人を数え、毎回30人分の食事を提供することができました。最近の傾向では独り暮らしの男性の参加者が増えています。また歩行困難な方には密閉容器に詰めた食事を配達して、健康状態の見守りも行いました。

コロナウイルス感染という未曾有の事態に直面し、介護事業の分野においても大きな変動が十分考えられます。そのため計画達成が思い通りにならないことも予想されますが、職員一同心を一つに研鑽努力を重ね、難局を乗り切っていくと決意を新たにしています。皆様のご支援よろしくお願いたします。

【お知らせ】 近く首都圏の緊急事態宣言が解除されるとの報道もありますが、たまり場「こぶし」と「日限山荘」は6月も活動を中止する予定です。再開が決まりましたら追ってご連絡いたします。

「新型コロナの時代」にあらためて感じたこと

「やればできる」「コロナ後の難局を乗り切りたい…宮崎浩子

今年1月8日、西洗港南プラザ自治会館で大橋綾子さんの指導の下に新年初のイベントとして「初釜」を開催した頃、令和2年がまさかこんな年になるなんて夢にも思いませんでした。

異変に気がついたのは2月に入り、日限山いぶき会と共催の「おとなのひな祭り」の準備をしている頃。ニュースが「新型コロナ」一色となり、高齢者の生命を奪う恐ろしい疫病だと警鐘を鳴らし始めました。

行政から毎日多数のメールが

早速、役員やヘルパー、外部関係者の皆さんと協議し「おとなのひな祭り」「医療講演会」はじめ、たまり場「こぶし」や日限山荘などの活動中止を決めました。その直後、

総ぐるみ福祉の会・役員リスト

1面記載の通常総会では役員の改選も議案が上がっています。この結果、6月1日より新しい役員は次の通りとなります予定です。

理事長・宮崎浩子
理事・布施信義、保永博行、飛岡逸夫、塚田信二、福岡賀子
監事・新見 宏（新任）

県や市など行政から通知・指導、報告を求めるメールが毎日何本も入ってきました。

内容のほとんどが感染予防に関するテーマです。高齢者のお客様を対象とする当会では、常日頃からヘルパーさんの健康状態に気を配るとともに、ヘルパー会議などで感染を防ぐ技術もマスターさせていきましたので、その点は心配なく、またマスクや消毒液なども常備していますので、マスク不足で困るようなことはありませんでした（手作りマスクや消毒液の差し入れもありました）。

そうはいっても介護の仕事は密接に他人と接するケースがほとんどです。毎日祈るような気持ちでヘルパーさんを送り出しました。

「やればできる?」テレワーク

その一方で3密を防ぐため、事務所の人数を最小限にするよう勧告もありましたが、当会のような小規模の事務所ではIT技術を理解する人材も設備もありませんのでテレワークもできず、出勤体制を工夫することで乗り切ってきました。

ところが「やればできる」の言葉通り、この4月から横浜市からの依頼業務で重度障がい児童の送迎をすることになりましたが、この作業がテレワークによるもの。当会のサー

ビス提供責任者が必死で技術をマスターしてできるようにになりました。

たくさん励ましに感謝します

「もし感染が発生したらどうしよう」と毎日胸の痛い思いをしている私を助けてくれたのは、会員や利用者の皆様それと「こぶし」や日限山荘でボランティア活動をしていただいている皆様の励ましです。

中でも多かったのは「応援するから一日も早くこぶしや日限山荘を再開してほしい」という声です。特に「こぶし」については昨年度の実績が横浜市から高く評価され、総合事業・通所型支援の模範例となっているとか。

そうはいっても難局はむしろこれから。皆様のお力をお借りしてなんとか乗り切って行きたいと思っています。

ご寄付ありがとうございました

昨年度、次の方々からご寄付をいただきました。心よりお礼申し上げます。

「2019年4月」姫野成示様、「5月」山野上啓子様、今川富佐子様、築地眞佐子様、贅田勇二様、石塚俊博様、岡野美樹・道子様、「7月」小林一彦・よし江様、「8月」笹路眞三様、小高典子様、大橋綾子様、「9月」松本久様、「10月」森本瑞子様、菊地幸子様、「11月」笹路眞三様、「12月」廣田明子様、平野英子様、小林一彦・よし江様、「2020年2月」利光雅子様、一柳芳子様、「3月」笹路眞三様、大橋綾子様（ご寄付月日順に記載）

介護のご相談なら、どんなことでもお気軽にお電話ください。TEL045-846-8850